

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 24 日 (2014.4.24)

【公表番号】特表 2012-505794 (P2012-505794A)

【公表日】平成 24 年 3 月 8 日 (2012.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2012-010

【出願番号】特願 2011-532243 (P2011-532243)

【国際特許分類】

B 6 0 J 3/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 J 3/02 D

B 6 0 J 3/02 A

B 6 0 J 3/02 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 10 日 (2014.3.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 6】

オープンチャネルの、及び前記キャリアは前記オープンチャネルに沿ってスライドする。前記車両パイザは、チャネルを備え、前記キャリアは前記チャネルに沿ってスライドする。好ましくは、前記スプリング機構は、前記ピボットロッドに圧縮力を提供する戻り止めスプリングアセンブリを備える。好ましくは、前記キャリアは前記チャネル内部にて圧縮される。好ましくは、所望にワイヤ量を減らすために、ワイヤが前記中空ロッド内を通り、前記オープンチャネルの側部に至る。好ましくは、前記キャリアの前記 S O R - 動き用エンドストップが、さらに好ましくは前記チャネル内部に、設けられる。さらに好ましくは、前記エンドストップは、エンドキャップであり、最も好ましくは前記チャネルに堅く結合される。本発明の好ましい具現化例にあって、前記エンドキャップの表面は、前記キャリアの動きのための基準面を提供する。本発明のさらに他の好ましい具現化例にあって、前記車両のパイザは、結合され、好ましくは一緒になって封止をなす二つの部分を有するパイザコアを備える。好ましい具現化例にあって、前記ピボットロッド、前記チャネル、ワイヤ及び／又は前記エンドキャップはこれらの部品が結合された後、パイザコアによって適切な場所に保持される。特に、前記チャネルが開放されている場合には、前記チャネルの前記端部の少なくとも一方は、縁取りされ、好ましくは前記キャリアへの鋭利な端部の接触を避けるために前記端部の少なくとも一方を折り返しさらに／或いは丸くする。さらに他の好ましい具現化例にあって、前記キャリアは前記チャネルの縁取りされ丸められた端部に係合されるスロットを備える。本発明の他の主体は、中実又は中空のパイザピボットロッド、前記パイザピボットロッドに係合するキャリア及びスプリング機構を備える車両パイザである。スプリング機構は、前記キャリアに少なくとも部分的にある。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 8】

図 3 4 は、一緒になって封止をなす二つの部分 1 0 1 . 1 及び 1 0 1 . 2 によってなる

バイザコアを示す。両方の部分とも、好ましくは前記チャンネルに直交して配置され、さらに前記コア内部にて前記チャンネルに取り付けられるリップ200を備える。図34からわかるように、前記チャンネルの終端領域にあって、エンドキャップは前記チャンネルのなかに挿入される。前記エンドキャップのウェッジ300は前記チャンネル終端を開ける。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中空なバイザピボットロッド(110)、前記バイザピボットロッドに係合するキャリア(140)及びスプリング機構(130)を備える車両バイザ(100)であって、前記スプリング機構(130)は少なくとも部分的に前記キャリア(140)内にあり、前記車両バイザ(100)は、開放された長手方向側部を有するチャンネル(150)を備え、前記キャリア(140)は前記チャンネル(150)に沿ってスライドし、

ワイヤ(160)が前記バイザピボットロッド(110)を軸方向に通じ、ワイヤ(160)が前記チャンネル(150)の前記長手方向側部から出ること、を特徴とする車両バイザ(100)。

【請求項2】

前記チャンネル(150)は、前記バイザの主本体に直接的に又はエンドキャップ(170、180)の使用を介して固定され、

前記キャリア(140)は前記バイザピボットロッド(110)に前記スプリング機構(130)により取り付けられることを特徴とする請求項1記載の車両バイザ(100)。

【請求項3】

前記スプリング機構(130)は、前記バイザピボットロッド(110)に圧縮力を提供する戻り止めスプリングアセンブリを備えることを特徴とする請求項1または2の何れか一項に記載の車両バイザ(100)。

【請求項4】

前記戻り止めスプリングは前記バイザピボットロッド(110)に対して回転するか或いは旋回することを特徴とする請求項3記載の車両バイザ(100)。

【請求項5】

前記キャリア(140)の断面積は前記チャンネル(150)の断面積よりも大きいことを特徴とする請求項1乃至4の何れか一項に記載の車両バイザ(100)。

【請求項6】

前記キャリア(140)は前記チャンネル(150)の内部に抵抗スライド力を生成する絞まり嵌めによってはめ込まれることを特徴とする請求項1乃至5の何れか一項に記載の車両バイザ(100)。

【請求項7】

前記キャリア(140)は前記チャンネル(150)の長手方向の端部と係合するスロットを有し、前記チャンネル(150)内の回転動作を低減するため、前記スロットは前記スロット内の中央に置かれた前記チャンネル(150)の前記長手方向の端部を保持する傾斜壁を有することを特徴とする請求項1乃至6の何れか一項に記載の車両バイザ(100)。

【請求項8】

前記キャリア(140)は付属物又は前記チャンネル(150)内部にて圧縮される分離付加スプリング(141)を有することを特徴とする請求項1乃至7の何れか一項に記載の車両バイザ(100)。

【請求項9】

エンドストップが前記キャリア(140)の取り付けのために設けられることを特徴と

する請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の車両バイザ (1 0 0) 。

【請求項 1 0】

前記エンドストップは前記エンドキャップ (1 7 0 、 1 8 0) であることを特徴とする請求項 9 記載の車両バイザ (1 0 0) 。

【請求項 1 1】

前記エンドキャップ (1 7 0 、 1 8 0) は基準面を前記チャンネルの終端に提供することを特徴とする請求項 1 0 に記載の車両バイザ (1 0 0) 。

【請求項 1 2】

一緒になって封止をなしかつ結合された二つの部分からなるバイザコア (1 0 1) を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 1 1 の何れか一項に記載の車両バイザ (1 0 0) 。

【請求項 1 3】

前記バイザピボットロッド (1 1 0) 、前記チャンネル (1 5 0) 及び / 又はワイヤ (1 6 0) は、前記二つの部分が結合された後に前記バイザコアによって適切な位置に保持され、及び / 又は前記エンドキャップ (1 7 0 、 1 8 0) はスクリューによる取り付けの使用によって保持される請求項 1 2 に記載の車両バイザ (1 0 0) 。

【請求項 1 4】

前記チャンネル (1 5 0) の少なくとも一つの長手方向の端部は、丸められ、折り返され、及び / 又は前記キャリア (1 4 0) と接触する鋭利な端部を避けるように丸められることを特徴とする請求項 1 乃至 1 3 の何れか一項に記載の車両バイザ (1 0 0) 。

【請求項 1 5】

前記キャリア (1 4 0) は前記チャンネルの折り返された又は丸められた長手方向の端部に係合するスロットを有する請求項 1 4 記載の車両バイザ (1 0 0) 。